

(対象期間：2022/7/25～2022/7/29)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年7月29日)

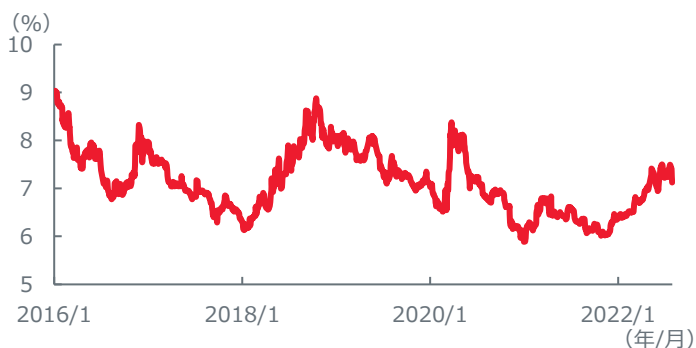


【株式市場】

25日はハイテク、金属・鉱業株が軟調となり下落しました。26日は銀行株が堅調となり上昇、27日は石炭価格の回復を背景とした石炭株や銀行株の上昇により続伸しました。28日は米国の金融引き締め鈍化への期待から、素材、消費、エネルギー、金融株などが買われ上昇しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）での利上げ決定後に為替市場で米ドル安となったことから、金属価格が上昇し鉱業株も堅調となりました。29日は銀行株が堅調となった一方で、一部の消費関連株は業績低迷を背景に下落しました。インドネシア株式市場は前週末比上昇しました。

2022/7/22	2022/7/29	変化率
6,886.96	6,951.12	+0.93%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年7月29日)



【債券市場】

25日のインドネシア国債利回りは米国債利回り低下を背景に低下（価格は上昇）しました。26日のイスラム国債入札の発行額は政府の当初予定額を下回り、利回りはやや上昇しました。27日はFOMCを前にした様子見姿勢の中で、中期債への需要が見られ利回りはやや低下しました。28日はFOMCの結果を受けて、金融引き締め鈍化観測から米国債利回りが低下し、リスク選好姿勢が強まりインドネシア国債の利回りは低下しました。29日も米国の景気後退懸念を背景に米ドル安ルピア高となり利回りは低下し、10年国債利回りは前週末比でも低下となりました。

2022/7/22	2022/7/29	変化幅
7.485	7.122	-0.363

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年7月29日)



【為替市場】

週初は米国のFOMCを前に様子見姿勢が強まり、対米ドルで安値圏での横ばいとなりました。FOMCの利上げ決定後、金融引き締め鈍化への期待から米ドル安が進みルピアは上昇しました。29日は米国の4-6月期の国内総生産（GDP）の速報値が市場の予想外に2四半期連続のマイナス成長となったことを受けて、米国の景気後退を巡る懸念が強まり、米ドル安の加速からルピアは一段高となりました。ルピアは前週末比対米ドルで上昇しましたが、円高米ドル安が進んだため対円では下落しました。

2022/7/22	2022/7/29	変化率
0.9145	0.8983	-1.77%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。